

令和7年度 with Dam ★ Night in Kyushu 開催報告

一般社団法人ダム工学会 企画運営委員会
活性化推進小委員会 九州地区連絡会 幹事

ダム工学会九州地区連絡会では、今年度で 10 回目となる「with Dam ★ Night in Kyushu」を、令和 7 年 11 月 8 日（土）に福岡市中央区の TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール・メインホール A にて開催し、滞りなく終了しましたので御報告致します。

1. はじめに

「with Dam ★ Night（以降はwDN と記載する。）」は、一般の方々とダム技術者・研究者やダムファンとの交流の場を提供することで、ダムに関する基礎知識や情報を社会に広く適切に伝え、ダムに親しんでもらえるように、平成 22 年（2010 年）より始めました。その後、wDN は大きなムーブメントに伴う反響を頂き、現在は日本全国で活動するまでになっています。

九州地区では、平成 26 年度より開始し、「一般の方々にダム魅力をより分かりやすく・親しみやすく」をキーワードに、福岡市の中心地である天神地区で wDN を開催しております。

参加者は講演会 92 名、懇親会 54 名の参加をいただき、盛況のうちに無事終わることができましたので、以下に実施した概要をご報告いたします。

2. イベントの概要

● 開催日時

開催日：令和7年11月8日（土曜日）

開催時間：15：00～17：50

(懇親会は 18:00 から)

● 開催場所

WDN 開催場所：

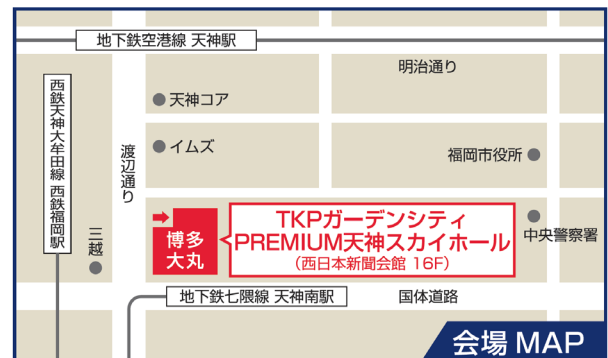
西日本新聞会館 16 階メインホール A

(福岡市中央区天神1丁目)

懇親会開催場所：

西日本新聞会館 16 階ウエストルーム

(福岡市中央区天神 1 丁目)



● wDN プログラム

『wDN 会場：メインホール A』

15:00 :【開会挨拶】

ダム工学会 会長 角 哲也

15:10～：【講演(1)】

「ダムの科学と技術」の概要紹介

(一財) ダム技術センター 理事

山口 嘉一

15:30～：【講演(2)】

ダムの「カタ」と「やわ」

(一財) 水源地環境センター 主任研究員

最上 友香子

16:05～：【講演(3)】

ダムしか勝たん！九州ダム境界

推し活報告書

ダムマイスター

瑞梅寺 穰司

16:25～：【講演(4)】

ダムマイスター 故古賀邦雄氏を偲んで

ダムマイスター

夜雀

16:55～：【イベント(1)】

2025 九州ダムフォトコンテスト審査発表

ダム工学会九州地区連絡会

wDN 実行委員会

泉 倫光

17:15～：【イベント(2)】

2025 wDN in Kyushu 「ダム jackpot」

FM 福岡 DJ & パーソナリティー

Kaede

ダム工学会九州地区連絡会

wDN 実行委員会

澤田 尚

森 康彦

17:45～：【閉会挨拶】

ダム工学会九州地区連絡会 会長

矢野 真一郎

【展示品】ダムフォトコンテスト参加作品、
全国ダムカードパネル、
ダム関連書籍

『懇親会会場：ウェストルーム』

18:00～：【懇親会】



会場状況



司会：kaede 氏



ダム jackpot 開催状況



懇親会の様子

3. 開会・来賓挨拶

ダム工学会 会長の角哲也から、開会の挨拶を行いました。



開会挨拶；ダム工学会 角会長

4. 講演

今回の wDN では、4 講演を行いました。講演の題目および御講演者は、以下のとおりです。

題 目	講 演 者
「ダムの科学と技術」の概要紹介	(一財) ダム技術センター 理事 山口 嘉一
ダムの「カタ」と「やわ」	(一財) 水源地環境センター 主任研究員 最上 友香子
ダムしか勝たん！ 九州ダム界限 推し活報告書	ダムマイスター 瑞梅寺 穰司
ダムマイスター 故古賀邦雄氏を偲んで	ダムマイスター 夜雀

(1) 「ダム科学技術」の概要紹介

最初の講演は、「ダム科学技術」の概要紹介」と題して、一般財団法人ダム技術センター理事の山口嘉一に、書籍の内容紹介と再開発・維持管理に関する近年の動向等についてご講演いただきました。

「ダム科学技術」は、日本ダム協会から出版されている書籍で、目次に沿ってダムの役割や基本構造、歴史、環境、再開発等の内容について、全国のおよび世界的な知見・事例を織り交ぜて講演をいただきました。

ダムについてスペシャリストから解説いただける貴重な機会となるとともに、今後、気候変動への対応や、過去に作られたダムの維持管理・再生事業が増えてくる中、大変勉強になる講演でした。



山口嘉一さまによる講演状況

(2) ダムの「カタ」と「やわ」

次の講演は、「ダムの「カタ」と「やわ」と題して、一般財団法人水源地環境センターの最上友香子さまより、様々な面から見たダムの魅力についてご講演いただきました。

「やわ」の面は、ダム周辺で食べられるダムカレーや、ダム炒飯を写真・3Dモデルとともに紹介いただき、「カタ」では、ダムを長く使うためのダム定期検査や気候変動への対応等について講演いただき、ダムの楽しみ方と（一財）水資源機構における取組を一度に学べる機会となりました。



最上友香子さまによる講演状況

(3) ダムしか勝たん！九州ダム界限

推し活報告書

続いての講演は、「ダムしか勝たん！九州ダム界限 推し活報告書」と題して、ダムマイスターの瑞梅寺穰司さまから、ダム好きによる「推し活」について講演いただきました。

講演では、瑞梅寺穰司さんのダムの楽しみ方について、ダム訪問だけでなくインターネット上でのダム巡り動画コンテストの主催など、多彩な楽しみ方について紹介をいただきました。

また、今後はダムマイスターとダム関係者（管理者、設計・施工関係者）が連携してダム業界を盛り上げていきたい、という提言で締めくくられ、今後のダムイベントの盛り上がりが期待できる講演となりました。



瑞梅寺穰司さまによる講演状況

(4) ダムマイスター

故古賀邦雄氏を偲んで

最後の講演は、「ダムマイスター 故古賀邦雄氏を偲んで」と題して、ダムマイスターの夜雀さまからご講演いただきました。

昨年亡くなられた第1期ダムマイスターの古賀邦雄氏の功績や、個人で設立された古賀河川図書館（現在は、蔵書を久留米大学御井図書館に移管）についてご紹介いただくとともに、夜雀さんが長年行われているダムに関する取材で見聞きされたことや、取材を通してのダム建設に対する思いについてお話をいただきました。

夜雀さんが直接取材された生の声から、ダムが出来るまでの関係者・住民の想いについて知ることができる、貴重な時間となりました。



夜雀さまによる講演状況

5. イベント

(1) ダムフォトコンテスト審査発表

wDN の開催に合わせて「2025九州ダムフォトコンテスト」と題して、九州地区のダム写真の募集を行いました。また、募集写真の中から、当日参加者の投票により入賞写真を選出し、wDN 実行委員会の泉倫光委員長より、審査発表を行いました。

九州ダムフォトコンテストは、より多くの方にダムに親しんで頂くことを目的として実施しており、本年は、12作品の応募を頂きました。

本年の最優秀賞は、「特別なステージ」のタイトルで、鶴田ダムのコンジットゲートからの放流状況を間近で撮影し、放流の力強さを撮影した yamasemi285 さまが選ばれました。

優秀賞は「遠ざかる陽光」のタイトルで、陽光を背景に撮影された下笠ダムの上流面を遊覧船から撮影された川北和義さま、上椎葉ダムのスキージャンプ式洪水吐を一望できる堤体上流面と美しい貯水池湖面を撮影された吉岡裕泰さまが選ばれました。

当日会場にいらっしゃった川北和義さまには受賞コメントをいただくと共に、受賞者の皆様に入賞作品の写真を使用したオリジナルダムカードを贈呈しました。



フォトコンテスト発表状況（泉委員）

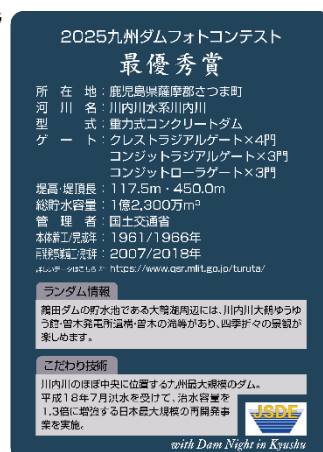


優秀賞（川北和義さま）

オモテ



ウラ



賞品 オリジナルダムカード



yamasemi285 さま；
最優秀賞作品「特別なステージ」



川北和義さま；
優秀賞作品「遠ざかる陽光」



吉岡裕泰さま；優秀賞作品

(2) 2025wDNinKyushu [ダム jackpot]

ダム工学会九州地区連絡会wDN 実行委員会の澤田尚委員と森康彦委員、FM 福岡パーソナリティーのkaede さまの司会で、九州のダムを紹介しながらのビンゴゲーム「ダム jackpot」を行いました。ビンゴゲームの賞品は、九州管内の直轄ダム管理事務所の皆様やダム工学会九州地区連絡会の有志から、ダムにゆかりのある品々をご提供頂きました。誠にありがとうございました。

今年も、ダムカード、ダム竣工記念枰、ペーパークラフトやダムカレンダー等、様々な賞品をお渡ししました。

ビンゴでは、九州中のダムの写真に数字を記載した画像でルーレットを行います。ルーレットを回す度に、このダム、行ったことある！等のお声をいただき、楽しいビンゴ大会になったと思います。



6. 閉会

ダム工学会 九州地区連絡会会長の矢野真一郎による閉会挨拶を行いました。



閉会挨拶
(ダム工学会 九州地区連絡会 矢野真一郎会長)

7. 懇親会

懇親会では、一般の方をはじめ、ダム事業の関係者、ダム愛好家など多くの方々に参加頂き、語らい・交流の場を提供することができました。

皆様のダム建設での思い出や、今後の業界に対する思いについて、職種や所属を超えて語り合う貴重な機会となりました。

最後は、九州地方整備局の皆様にも音頭をとっていただき、お馴染みのダム式で会が締められました。



懇親会の状況（ダム式万歳）

8. さいごに

今年度で開催したwDN in Kyushu は、一般の方々を招いて、ダムについてより分かりやすく、親しみやすく知って頂きたいという趣旨のもとで実施いたしました。そのため、多くの方々がお越しになれるよう、プログラム内容の工夫はもとより、開催日時を昨年同様土曜日の午後に設定するとともに、開催会場も交通の便が良い福岡市内の中心（天神）としています。

広報面では、昨年度と同様に広報誌への案内掲載や、後援頂いている各機関へのHP掲載を依頼しました。

近年は、関係者やダムマイスターだけでなく、ダムが好き、将来土木学会に進みたい、というお子さんの参加もあり、一般の方にダムを知ってもらうよい機会となっていると感じています。

なお、wDN 当日に実施したアンケートでは、「初参加でしたが楽しかったです」、「来年も来たいと思います」、「今後もダムの魅力発信をお願いいたします!」といった嬉しい意見も頂いております。

ダム工学会九州地区連絡会では、今後もwDN開催を始め、ダム分野の発展に繋がるイベントを積極的に企画・実施していきたいと考えています。

最後になりましたが、wDN in Kyushu を開催するにあたり、(一社)ダム工学会、(一社)九州地方計画協会、国土交通省九州地方整備局、福岡市、(公社)土木学会西部支部、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部、(一財)日本ダム協会/ダム工事総括管理技術者協会、九州大学、御講演者の皆様など、関係各位に多大なご協力を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。